

**3・11東日本大震災と福島第1原発事故から6年
2万2千人の犠牲者の遺族の各家で、「7回忌法要」行われる
未だ12万3千人の被災者が、避難生活を余儀なくされる
33,748世帯 71,113人が仮設住宅で生活（原発の自主避難者を含む）**

原発被災地―復興を加速させる（安倍首相）どころか、復旧のスタートに着いたばかり今年も3月11日がやって来ました。今年は3・11から6年、犠牲者の遺族の方々にとっても、特別の年です。犠牲者の遺族の各家では、「7回忌法要」が行なわれます。辛い悲しみを思い出される遺族の方々には、再出発している自身の姿によって、犠牲者を供養してもらいたいものです。

6年経っても、未だ12万人の被災者が、避難生活を余儀なくされています。これが、世界第3位の経済大国、アベノミクスの日本の現実なのです。ちなみに阪神淡路大震災では、仮設住宅は5年間で撤去され、避難生活は解消しました。

被災地の自治体では、2時46分を前後して、犠牲者追悼式が行われました。私は、南相馬市の犠牲者追悼式に参加しました。式途中で、政府主催の犠牲者追悼式がスクリーンに写し出されました。安倍首相は、「復興を加速させる」と式辞を読み上げました。以前には、今村復興大臣が、「福島の復興は、マラソンでは30kmに到達したところだ」と発言しました。しかし、馬場浪江町長は、「原発被災地はマイナスからの出発だった。今初めてマラソンのスタート地点に立った所だ」と反論しました。福島の被災者にとっては、馬場町長の意見が実感です。

安倍首相 式辞で「原発事故」に初めて触れず一内堀福島県知事、苦言を呈す

政府主催の犠牲者追悼式で、秋篠宮殿下は式辞で、原発事故の被災者に思いを寄せました。しかし、「原発事故のために住みなれた土地に戻れない方々」（平成15・16年）と述べていた安倍首相は、今年の式辞で、「原発事故」には触れませんでした。

福島の沿岸部では、原発事故によって、津波での生存者の捜索が1カ月にわたってできなくなりました。もしも原発事故が無ければ、救えた命があったかもしれません。また、行方不明者も見つかっていたかもしれません。つまり福島においては、津波と原発事故とは、一体の災害（事故）だったのです。

3・11で日本は変わると思った。

3・11では、阪神淡路大震災に継いで、多くのボランティアの人達が、被災地で活動しました。私は、3・11によって、日本は“平和・連帯・寛容・（皆が貧しくても）平等”の社会に変わると思いました。しかし、この6年間で、政権は暴走し、国内の格差は増大しました。原発も再稼働しました。自衛隊は、災害救助から、世界中で戦争する軍隊に舵を切りました。今年の3・11は、1人1人の国民が、もう一度日本の社会のあり方と自分の生き方について、考える機会になればと思います。

【犠牲者 636 人、震災関連死 497 人の南相馬市 犠牲者追悼式 行われる】



【犠牲者 182 人の浪江町 東日本大震災慰霊碑の除幕式 行われる】



【東日本大震災の現状（人）】

	岩手	宮城	福島	全国
死者	4,673	9,540	1,613	15,893
行方不明者	1,122	1,230	107	2,553
関連死	460	922	2,086	3,523
各県内に住む避難者	14,463	23,853	39,630	123,168
仮設住宅入居者	10,383	11,616	* 11,855	33,854

*原発事故の自主避難者は含まず